

第398回 東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 平成23年1月27日(木) 10:00～12:00

場 所 総合図書館3階 大会議室

出席者 <委員長>古田元夫 <委員>久保文明、大江和彦、高田毅士、斉藤 明、榎森康文(代)、
本間正義、伊藤正直、鍛冶哲郎、根本 彰、村田茂穂、時弘哲治、青木不学、
西垣 通、川口 寧(代)、栗田 敬、大木 康、大湾秀雄、保谷 徹、川崎雅裕、
高田康民(代)、安田一郎、玉井克哉

※(代)は代理出席者

<オブザーバー>木村秀雄、中川裕志(代)、大西克也

欠席者 石塚 満、畑中研一、白髭克彦

列席者 田中成直、木村 優、尾城孝一、鈴木秀樹、風巻利夫、茂出木理子、高橋 努、福井明美、
吉田左貴子、高嶋秀介、大澤正男、風巻みどり、合田美恵子、野口真理子、藤本蒂子、
本多 玄、高杉泰穂、瀬川紀代美、前田哲男、石川一樹、佐藤英之、細谷孝子

配付資料

1. 第397回図書行政商議会議事要旨
2. 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について
3. 新図書館の構想骨子(案)
4. 図書行政商議会附属図書館サービス特別委員会(平成22年度第4～6回)議事次第
5. 第20回駒場図書館運営委員会議事次第
6. 国立国会図書館「学位論文(博士)のデジタル化に係る許諾について(依頼)」について
7. 公文書等の管理に関する法律施行令第3条第1項及び第5条第1項第4号の規定に基づく歴史資料等保有施設の指定について

<開 会>

- ・古田委員長の主宰のもとに開会した。
- ・古田委員長から代理出席者の紹介があった。

<議 事>

1. 前回議事要旨の確定

古田委員長から、第397回議事要旨を資料1のとおり確定し、ホームページで公開した旨報告があった。

2. 協議事項

(1) 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について

古田委員長から「全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備」について、前回の図書行政商議会からの経過についての報告と、今回の館長提案の全学共通経費の財源試案の考え方について説明があ

った。尾城課長から資料2にもとづき、試案A、B、Cの詳細について説明がなされた。古田委員長から各案で算出した各部局毎の具体的金額については2月1日の業務連絡会議後に配付するので、まずは全学共通経費の対象コンテンツと財源方式の考え方について議論頂きたいとの発言があった。今回の提案に対して委員から、部局間の不合理がかなり解決する、透明性が高い、予算規模と構成員数の定義を明確にすべき、電子ジャーナルのない冊子体の購入状況の資料提供等、意見、要望があった。古田委員長から、電子ジャーナルがある冊子体を全学共通経費から除外することの賛否、部局拠出の算定根拠を予算規模と構成員数の比例という原理で基本的に考えるということについての賛否、A、B、C案への意見、改善案等について2月21日の週の前半までに回答頂き、頂いた意見を附属図書館運営委員会及び附属図書館サービス特別委員会の場合でも議論し、最終的な合意案を可能であれば3月16日の図書行政商議会で報告・審議いただきたい旨発言があった。また、各部局で議論する際に参考となる資料と共に、回答項目をまとめた調査票を各部局へお届けしたいとの発言があった。

(2) 新図書館の構想について

古田委員長から、資料3にもとづき説明があった。委員からはデジタル化との関連からマイクロフィルムの保存や部局図書館の負担について等の質問、全体像が分かりにくい等の意見があった。古田委員長から、新図書館は中央図書館として機能しつつ、部局図書館との従来からの在り方を継承するという基本方針の趣旨であり、建設改修経費の財源や部局負担等は今後の検討課題であること、マイクロフィルムの保存については新図書館構想を具体化する中で方向性を示していきたい、また、全学委員会において検討を進めていくが、特に大きな問題については図書行政商議会で意見を伺いたいとの発言があった。

3. 報告事項

(1) 図書行政商議会附属図書館サービス特別委員会報告

欠席の畑中サービス特別委員長に代わり古田委員長から、協議事項「全学共通経費による学術雑誌等の整備について」での全学共通経費の対象についての提案を報告に代える旨の発言があった。

(2) 第20回駒場図書館運営委員会報告

茂出木教養学部等図書課長から、資料5にもとづき報告があった。

(3) 著作権侵害に係る裁判について

鈴木情報サービス課長から、平成22年12月9日付で最高裁判所が上告審として本件を受理しないことを決定し、本学を含む大学側の勝訴が確定したとの報告があった。

(4) 国立国会図書館「学位論文（博士）のデジタル化に係る許諾について（依頼）」について

木村総務課長から、資料6にもとづき経緯説明があり、本件については東大ポータル等で周知したいとの報告があった。

4. その他

(1) 公文書管理法施行に伴う対応について

木村総務課長から、資料7にもとづき説明があり、利用規程等の改正等への協力依頼があった。委員からは本学における公文書等の管理及び文書館での保存の重要性について発言があった。

古田委員長から次回の図書行政商議会は３月１６日に予定している旨の発言があった。

〈閉 会〉